



2学期の過ごし方 ～充実した80日にするために～

校長 竹谷 浩一

令和7年度の授業日数は、1学期70日、2学期80日、3学期52日（6年生は50日）となり202日（6年生は200日）あります。中でも一番の長丁場が今日から始まる2学期です。ここ数年は10月に入っても真夏並みに暑い日がありますが、年間を通じて最も過ごしやすい時期を迎えます。校外学習等がこのタイミングで集中する理由はそこにあります。教室を飛び出しての活動は子どもたちの五感を刺激します。一緒に行く仲間や行く先々で出会う人たちとの交流を通じて、豊かな経験をたくさんしてほしいです。

【2学期の主な行事(経験)予定】 ※社会情勢や天候等により、期日・実施方法等が変更になる場合があります。

- 10月 6日(水) 1年校外学習
- 10月11日(土) 運動会
- 17日(金) 3年校外学習
- 21日(火)～22日(水) 6年修学旅行
- 28日(火) 3年消防署見学
- 30日(木) つぼみの日(6年中学校訪問)
- 11月 7日(金) 授業公開日(2, 3時間目)
- 8日(土) 南区避難所運営訓練
- 17日(月) 4年校外学習
- 21日(木) 校内音楽会 22日(土) 土曜授業日・音楽発表会
- 27日(木) 6年校内サッカー大会
- 12月24日(水) 終業式 ※25日(木)～1月7日(日) 冬季休業日



このように、バランスを考えて行事が計画されています。中でも運動会、校内音楽会、6年修学旅行は綿密な計画が必要であることから、今後、関係職員と子どもたちがスクラムを組んで、素晴らしい経験となるよう準備を進めていくことになります。

学校行事は教室外での活動ということもあり、気持ちが開放的になるなど、子どもたちにとって程よい生き抜きの時間です。一方で、学校生活の大半を占める教室での学びを無視することはできません。日ごろの授業が子どもたちの成長を支える基盤だからです。徐々に暑さから解放され、集中力も増す大切な時期です。学習効果が期待できるだけに、各担任もこれまで以上に気合いが入ります。

ここ数年で教室の授業風景は一変しました。数年前までは、教師主導で教科書と板書（重要な部分を黒板に書くこと）がメインの授業を展開していましたが、子どもたちが板書を黙々とノートに書き写す授業は確実に減りました。こうした授業が諸悪の根源とは言いませんが、これからは自ら選んだ課題について主体的に探究する活動を、多くの人と対話し協力しながら確保していくため。これからも校内研修等を通じて令和の日本型学校教育の実現に向け、学び続けていきたいと思ひます。

校長のつぶやき

私が着任してから、手を変え、品を変え「あいさつ」の大切さを子どもたちに伝え続けてきました。人と人をつなぐ、たった一秒の魔法の言葉…。本来、あいさつ指導は学校の役割ではありません。しかし、登下校や学校生活で多くの人と関わることから、実際にはあいさつ指導をしているわけです。しかしその真価が問われるのは、今日明日ではなくこの先の未来です。あいさつを通じて多くの仲間と日常生活を送れたら幸せですね。そんな人が西浦和小から多く巣立ってほしいです。